



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

東

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所
 コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,957	△7.0	285	△60.4	324	△55.5	206	△57.8
2022年3月期第3四半期	11,779	△3.4	720	△12.8	729	△10.7	489	△12.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 193百万円 (△55.6%) 2022年3月期第3四半期 436百万円 (△9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	42 40	—
2022年3月期第3四半期	100 56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,995	7,514	44.2
2022年3月期	16,735	7,419	44.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,514百万円 2022年3月期 7,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
2023年3月期	—	10 00	—		
2023年3月期(予想)				10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△1.3	410	△40.5	430	△38.1	270	△42.1	55 43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	5,155,600株	2022年3月期	5,155,600株
2023年3月期3Q	286,493株	2022年3月期	284,793株
2023年3月期3Q	4,870,595株	2022年3月期3Q	4,870,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動に持ち直しの動きが見られましたが、急激な円安に伴う物価上昇やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・エネルギー価格の高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、2021年度～2023年度を計画期間とする中期経営計画において、2022年度の経営方針を「唯一無二の存在へ～新しいモノ・やり方で客数を飛躍的に上げる～」とし、ウィズコロナ時代に人々のよりよい暮らしの役に立つために、価格・品質・サービス面においてヒラキ流を徹底することにより、お客様に「驚き」「楽しさ」「満足感」をお届けするべく、オリジナル商品を軸とした通信販売・店舗販売・卸販売の各事業を精力的に展開してまいりました。しかしながら、中国等の新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響を受け、オリジナル商品の輸入に遅延が発生し販売機会の逸失を招いた他、急激な円安の進行による仕入原価の高騰等、厳しい経営環境が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、109億57百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は2億85百万円(前年同期比60.4%減)、経常利益は3億24百万円(前年同期比55.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6百万円(前年同期比57.8%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では1,000円以下の販売促進商品投入に加えて、親子ルームウェア「ふわとろりモコモコ上下セット」、「レディースビット付ローファー」等の中価格帯に加え、高機能・お値打ち価格の「あったか極暖ラグ」等を投入し、お客様の支持を得ることができました。販売促進面では、インフルエンサーによる商品のPR投稿、アプリ60万ダウンロード突破記念クーポン配布ならびに週替わりの期間限定商品の販売等を実施し、新規顧客の獲得および既存顧客の受注促進に努めてまいりました。しかしながら、春夏シーズンに中国等の新型コロナウイルス感染症の拡大による入荷遅延が受注に影響した他、販売促進商品・子供商品等が受注を大きく牽引するには至りませんでした。加えて、急激な円安による仕入価格上昇により一部商品について価格改定を行った結果、売上高は60億55百万円(前年同期比11.2%減)となりました。利益面は、減収に加え、円安に伴う仕入原価の上昇により売上総利益率が低下し、セグメント利益は5億56百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで来店客数は増加基調となりました。靴の強化策として、オリジナル商品の売り場全面展開に加え、紳士靴・婦人靴における新しいブランド商品の導入を積極的に展開した他、特価商品の仕入れに注力しました。また、岩岡本店の来店客数増加策の一環として、「ヒラキ おかし館」を11月にオープンし、新規顧客の来店および本店既存フロアの売上に貢献いたしました。また、靴専門店は大阪・兵庫に新たに各1店舗オープン、1店舗を閉店した結果、計11店舗となり、全店の靴売上高は前年同期を上回り堅調に推移しました。一方、食品部門は年末商戦は活況を呈したものの、第3四半期累計では前年同期の売上高には至りませんでした。この結果、売上高は46億89百万円(前年同期比1.2%減)となりました。利益面は、専門店の靴売上高の増加等により、オリジナル商品の売上高および売上構成比がアップした結果、売上総利益率は高まり、セグメント利益は36百万円(前年同期比114.8%増)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主力取引先および靴専門店向け「大卸し」の売上は増加しましたが、その他取引先の需要は力強さに欠け前年並みとなりました。この結果、売上高は2億12百万円(前年同期比0.8%増)、利益面は、円安により仕入原価が上昇したため、売上総利益率が低下し、セグメント損失は12百万円(前年同期は損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円増加し、112億62百万円となりました。これは、商品が6億70百万円、未着品が1億66百万円増加し、現金及び預金が4億円、売掛金が2億26百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し、57億33百万円となりました。これは、無形固定資産が57百万円増加し、有形固定資産が52百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加し、169億95百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、38億10百万円となりました。これは、その他の流動負債が1億70百万円、未払法人税等が64百万円減少し、買掛金が1億71百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億80百万円増加し、56億70百万円となりました。これは、長期借入金が2億42百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億65百万円増加し、94億80百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ94百万円増加し、75億14百万円となりました。これは、利益剰余金が1億9百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント低下し、44.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ2億円減少し、28億55百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、3億83百万円(前年同期は9億6百万円の獲得)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額8億36百万円、税金等調整前四半期純利益3億24百万円の計上、売上債権の減少額2億27百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、85百万円(前年同期は9億31百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入30億円、定期預金の預入による支出28億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億2百万円(前年同期は1億68百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入19億円、長期借入金の返済による支出16億66百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2022年11月8日の決算短信にて発表しました2023年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において2023年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,056,660	6,655,798
受取手形	374	-
売掛金	898,388	671,457
商品	2,867,212	3,537,920
未着商品	101,408	268,329
貯蔵品	13,668	12,662
その他	78,760	125,051
貸倒引当金	△8,337	△8,945
流動資産合計	11,008,136	11,262,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,164,283	2,086,021
土地	3,098,931	3,098,931
その他(純額)	146,981	172,270
有形固定資産合計	5,410,196	5,357,224
無形固定資産	50,874	107,920
投資その他の資産	266,207	267,941
固定資産合計	5,727,279	5,733,086
資産合計	16,735,415	16,995,360
負債の部		
流動負債		
買掛金	805,875	976,917
1年内返済予定の長期借入金	2,015,613	2,006,479
未払法人税等	71,774	6,867
賞与引当金	117,296	70,120
役員賞与引当金	-	6,000
契約負債	22,583	22,240
その他	892,445	721,667
流動負債合計	3,925,589	3,810,292
固定負債		
長期借入金	5,102,176	5,345,135
退職給付に係る負債	180,473	184,847
資産除去債務	35,074	35,551
その他	72,309	105,084
固定負債合計	5,390,033	5,670,619
負債合計	9,315,622	9,480,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,932,760	6,041,870
自己株式	△151,191	△152,908
株主資本合計	7,381,010	7,488,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,295	14,434
繰延ヘッジ損益	20,775	134
為替換算調整勘定	15,712	11,475
その他の包括利益累計額合計	38,782	26,044
純資産合計	7,419,792	7,514,448
負債純資産合計	16,735,415	16,995,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	11,779,707	10,957,040
売上原価	6,019,211	5,847,255
売上総利益	5,760,496	5,109,785
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,378,445	1,284,491
貸倒引当金繰入額	4,943	7,141
給料手当及び賞与	1,423,632	1,398,416
賞与引当金繰入額	74,571	70,120
その他	2,157,992	2,063,864
販売費及び一般管理費合計	5,039,585	4,824,033
営業利益	720,911	285,751
営業外収益		
受取利息	3,391	5,591
受取配当金	1,816	2,389
為替差益	6,063	16,076
受取補償金	9,721	16,253
その他	17,767	20,784
営業外収益合計	38,761	61,095
営業外費用		
支払利息	22,942	20,851
その他	7,492	1,686
営業外費用合計	30,434	22,538
経常利益	729,237	324,309
税金等調整前四半期純利益	729,237	324,309
法人税、住民税及び事業税	203,966	96,372
法人税等調整額	35,460	21,410
法人税等合計	239,427	117,782
四半期純利益	489,810	206,526
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,810	206,526

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	489,810	206,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470	12,139
繰延ヘッジ損益	△52,897	△20,640
為替換算調整勘定	△925	△4,236
その他の包括利益合計	△53,351	△12,737
四半期包括利益	436,458	193,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436,458	193,788
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	729,237	324,309
減価償却費	205,790	211,173
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,673	608
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52,253	△47,176
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,225	6,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△34,963	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,810	4,374
受取利息及び受取配当金	△5,207	△7,980
支払利息	22,942	20,851
為替差損益 (△は益)	△227	7,676
売上債権の増減額 (△は増加)	440,800	227,836
棚卸資産の増減額 (△は増加)	381,715	△836,622
仕入債務の増減額 (△は減少)	△118,280	168,612
契約負債の増減額 (△は減少)	25,129	△343
その他	△277,486	△298,003
小計	1,326,559	△218,685
利息及び配当金の受取額	5,878	8,313
利息の支払額	△22,924	△20,823
法人税等の支払額	△403,480	△152,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	906,033	△383,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,500,500	△2,800,000
定期預金の払戻による収入	1,638,400	3,000,000
有形固定資産の取得による支出	△60,376	△86,631
有形固定資産の売却による収入	281	27
無形固定資産の取得による支出	△815	△26,780
投資有価証券の取得による支出	△450	△501
その他	△8,400	△1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931,860	85,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,708,614	△1,666,175
自己株式の取得による支出	-	△1,716
配当金の支払額	△97,507	△97,507
その他	△25,725	△32,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,153	102,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,794	△5,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	146,120	△200,861
現金及び現金同等物の期首残高	2,750,216	3,056,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,896,336	2,855,798

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,822,031	4,747,156	210,519	11,779,707	—	11,779,707
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,822,031	4,747,156	210,519	11,779,707	—	11,779,707
セグメント利益又は損失(△)	984,653	16,887	△2,442	999,099	△278,188	720,911

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△278,188千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃30,363千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,055,052	4,689,744	212,243	10,957,040	—	10,957,040
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,055,052	4,689,744	212,243	10,957,040	—	10,957,040
セグメント利益又は損失(△)	556,010	36,267	△12,454	579,823	△294,071	285,751

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△294,071千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃28,189千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響について重要な変更はありません。